

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第85回）に係る面談
2. 日時：令和2年10月30日（金） 13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 金子審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、伊藤係長、高木技術参与
福島第一原子力規制事務所

小林所長（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

本社7名、福島第一原子力発電所6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第85回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。
 - 放射性物質分析・研究施設第2棟の安全設計について
 - 1-4号機 SGTS 室調査の進捗について
 - 多核種除去設備等処理水の二次処理性能確認試験について
 - 2020年度上半期に生じた不適合に対する分析・評価と対策について
- 原子力規制庁から、上記説明、次回以降の検討会の議題等について、以下のとおりコメントした。
 - 放射性物質分析・研究施設第2棟の安全設計に関しては、これまで審査等において指摘したコメントに対する回答について、どこまでの範囲を実施計画中に記載するのか明確にすること。
 - 1-4号機 SGTS 室調査に関しては、フィルタトレイン開放作業の内容及び汚染拡大防止策について作業開始前に説明すること。
 - 建屋滞留水処理の進捗状況として、滞留水中の α 核種除去に向けた取組、多核種除去設備の運転管理等について説明が可能か確認すること。
 - 2020年度上半期に生じた不適合に対する分析・評価と対策に関しては、不適合やCR 起票の状況から課題を整理するために行った分析の具体的内容について説明するとともに、組織改編と不適合発生の関連性についても考察結果を示すこと。
- 東京電力から、コメントについて検討の上、検討会等に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 放射性物質分析・研究施設第2棟の安全設計について（案）
- 1-4号機 SGTS 室調査の進捗について（案）
- 多核種除去設備等処理水の二次処理性能確認試験について（案）
- 2020年度上半期に生じた不適合に対する分析・評価と対策について（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）